
開講科目名：会計学特別研究（金融論）（8単位）
開設年次：1年
開設学部：会計学研究科博士前期課程会計学専攻
担当者：野村 重明

《授業の概要》

現在の日本の金融に係わる研究課題は数多い。そのなかでも次の2点を取り上げ研究する。第1に、金融機関の破綻処理についてである。1990年代後半以降の相次ぐ金融機関の破綻に伴い、日本でも破綻金融機関の処理体制が整えられつつある。本演習では、処理手法の不十分さはあるもののともかく緒につくに至った破綻金融機関の処理体制の枠組みをアメリカのそれと比較しつつ研究する。第2に、バブル崩壊後遅々として進まなかった不良債権の処理についてである。銀行における不良債権とは何なのか、それはなぜ生じたのか、長期にわたるその処理にもかかわらずそれはなぜ大きく減らなかったのかを研究するとともに、今日言われているように不良債権問題がようやく峠を越えるにいたったとすれば、それはどのように処理された結果なのかといったことにも研究を進める。

【評価方法】

レポートの内容および出席状況により評価する。

《テキスト》

未定